

交通安全家庭新聞

2023年

夏

基本が大事！

日本での開催は22年ぶりの「世界水泳選手権」。こうした世界大会に出場するような選手でも、当然、最初から速く泳げたわけではありません。泳ぎ方の基本を習い、くる日もくる日も練習を積み重ねてきたからこそ、確かな能力を身につけることができたのです。

交通安全の能力も、努力せず身につくものではありません。安全運転や安全通行の基本を学び、それの一つひとつ意識しながら日々繰り返し実践し、自分のテクニクとしてしっかり身につけることが肝心なのです。

回覧

久慈市交通安全対策協議会*久慈市交通安全協会

基本の徹底が事故防止の決め手！ 通行場所に応じた安全行動のチェックポイント！

1 住宅地の道路を通行するとき…

歩行者のチェックポイント

車通りが少ないから…と、いきなり道路を渡っていませんか？

- ふだんはあまり車が通らない閑散とした道路でも、横断前に道路の端で必ず一度立ち止まり、右左を見て、**近づいてくる車がないかどうかしっかり確かめてから横断**しましょう。

ドライバーのチェックポイント

人があまりいないから…と、漫然と運転していませんか？

- 人があまり歩いていない閑散とした住宅地の道路でも、先々の状況にしっかり目配りし、どこかに**歩行者がいないか、道路脇や物陰に歩行者が潜んでいないか探す**つもりで運転しましょう。



住宅地の道路は、なぜ危険？

- その地域の道路を通り慣れている住民が「ここはめったに車は通らないから…」と油断し、安全確認を怠って道路を横断しがちです。
- また、ドライバーのほうも、人通りが少ない道路では油断しやすく、歩行者のチェックが甘くなりがちです。



信号がない交差点は、なぜ危険？

- 特に住宅地では、その交差点を通り慣れている自転車利用者が「ここはめったに車は通らないから…」と油断し、一時停止や安全確認をおろそかにしがちです。
- また、ドライバーのほうも、自車側に一時停止標識がない場合、交差点路側の自転車等が一時停止するもの…と油断し、安全確認をおろそかにしがちです。

自転車のチェックポイント

めったに車はこないから…と、いきなり交差点に進入していませんか？

- ふだんはあまり車が通らない交差点でも、交差点に進入する前に一時停止して交差点の状況に目配りし、**交差点から車がきていないかどうかしっかり確かめてから通行**しましょう。

ドライバーのチェックポイント

こっちに一時停止標識はないから…と、安全確認を怠っていませんか？

- 交差点道路のほうに一時停止の標識がある場合でも、交差点から自転車が一時停止や安全確認を怠っていきなり進入してくるかも…と警戒し、**必ず交差点道路の安全を確かめてから通行**しましょう。

3 信号がある交差点を通行するとき…

歩行者のチェックポイント

信号が青だから…と、前ばかり見て渡っていませんか？

- 横断歩道の信号が青でも、交差点を曲がる車が横断歩道を横切るかも…と警戒し、横断前はもちろん、横断中も**交差点の状況を広く見渡し、車が曲がってこないかどうか確認**しましょう。

自転車のチェックポイント

交差点を直進するとき、並走車のそばを走っていませんか？

- 並走車のドライバーが自転車の存在に気づかずいきなり左折するかも…と予測し、スピードを落とすなどして**並走車から離れ、ドライバーから確認しやすい位置を走行**しましょう。

ドライバーのチェックポイント

周囲の状況をよく確かめずに、いきなり右・左折していませんか？



信号がある交差点は、なぜ危険？

- 特に交通量が多い有信号交差点では、青信号で横断歩道を渡る歩行者・自転車や車道を直進する自転車に対し、同じく青信号で交差点を右・左折する車の進路が交錯する危険があります。
- ところが、歩行者・自転車利用者・車のドライバーともに青信号で進行しているため「自分が優先…」との意識が働き、安全確認がおろそかになりがちです。

- 運転席からは確認しにくい位置に歩行者や自転車がいるかも…と予測し、右・左折前にスピードを変化させたり一時停止したりして、**近くに歩行者や自転車がないことを自分の目で確認**してから右・左折しましょう。

令和5年4月1日施行・道路交通法一部改正

自転車乗車用ヘルメットの着用努力義務の対象が拡大！

「自転車の運転者」に対する努力義務

- 年齢を問わず、自転車を運転するときは、ヘルメットをかぶるよう努めなければなりません。**(新設の規定)**



- 他人を自転車に乗車させるときは、その同乗者にヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。**(新設の規定)**



「子どもの保護者」に対する努力義務

- 13歳未満の子どもを保護者は、自転車を運転する子どもにヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。**(従来からの規定)**



- ヘルメットを着用せずに自転車に乗っていたときに事故で死亡した人の約6割は、頭を受けた損傷が主な原因となっていました。

この夏、帰省・レジャードライブは安全第一で！

■ 自粛生活が長く続いた反動か、今年は死亡事故が増加の傾向… ■

① 1～2時間おきに休憩し、眠気を感じたら仮眠！

● 仮眠や休憩をしたあとは、ストレッチなどで体を十分にほぐしてから運転を再開しましょう。



② 行楽地などの近くでは、渋滞による急な減速を予測！

● 漫然と運転していると、ブレーキが間に合わず、渋滞の列に追突する危険があります。

③ 目的地に近づいたら、改めて注意力を高める！

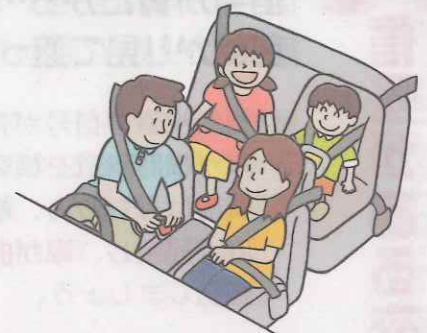
● 目的地に着く直前に発生する事故が少なくありません。帰途、自宅付近での事故にも要注意です。



④ 運転中、燃料計をこまめにチェック！

● 特に地方や郊外では、ガソリンスタンドが少ないため、早め早めに給油しましょう。

すべての座席でシートベルトを着用！



■ 小さな子どもにはチャイルドシートを正しく使用しましょう。

出先での安易な飲酒は禁物！



■ 「ちょっとだけならすぐさめるから…」と安易に出先でお酒を飲んだあと、事故を起こすドライバーが少なくありません。飲酒の影響は思いのほか長時間に及びます。

令和5年 夏の交通事故防止県民運動

実施期間 7月15日(土)から7月24日(月)までの10日間

スローガン 「もちましよう 心の余裕と 車間距離」

運動重点

- ① 暑さなどによる過労運転の防止
- ② 高齢者と夏休み中の子どもの交通事故防止
- ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶

